



Dai I NAIKA News

平成 25 年 11 月 21 日

三重大学病院
総合内科、循環器内科
消化器・肝臓内科、腎臓内科
広報誌【第 11 号】

発行 / 三重大学医学部第一内科
〒514-8507 津市江戸橋2-174
TEL 059-231-5015 FAX 059-231-5201
<http://www.medic.mie-u.ac.jp/naika1/index.html>

ごあいさつ



伊藤正明

先生方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、患者様のご紹介を含め、大学病院との病診連携、病病連携にご協力を頂きまして、誠に有難うございます。この場をお借りしまして重ねて御礼申し上げます。

大学病院の循環器内科、腎臓内科、総合内科および消化器・肝臓内科では、先生方のご協力により、活発な診療、研究活動を続けさせて頂いております。この 10 月より、10 階北病棟の循環器・腎臓・総合内科の病棟主任は、太田覚史にかわりまして澤井俊樹が担当させて頂いております。今までと同様、よろしくご指導をお願い申し上げます。

この春から稼働しました総合内科の外来に、不明熱、二次性高血圧などの数々の症例のご紹介を頂き有難うございます。これらの中には報告すべき学問的に重要な症例もあり、また全身を診ることを学生に教育する上でも貴重な症例が数多くあります。内科疾患で、専門診療科への紹介

がはっきりしないケース、複数の診療科領域にわたる内科疾患患者など、引き続きご紹介をいただければ幸いです。

以前にもご紹介をいたしましたが、地域医療再生基金および厚生労働科学研究補助金のサポートを受けて、急性心筋梗塞の急性期治療の体制整備に関する研究が進んでまいりました。第一内科関連病院での急性心筋梗塞の発症から治療、その予後に関するデータも蓄積され、また救急車からの 12 誘導心電図の電送の効果も、津地区で明らかになってまいりました。また、蛋白尿を有する高血圧患者に対するアルドステロンブロッカーとサイアザイド系利尿薬の効果を比較する OWASE Study の結果も来年にはまとめられると思えます。これら研究に対しご協力をいただきまして誠に有難うございます。これら研究成果は、まとめ次第、先生方にご報告させて頂く予定です。

また、私、この 10 月より附属病院病院長を拝命し、内科のみならず病院全体として先生方のご協力をお願いしなくてはならなくなりました。先生方のニーズによりお応えできるよう第一内科ならびに附属病院体制を整備してまいりたいと思っています。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

新病棟医長就任 -大学病院のお・も・て・な・し-

10 月より前任の太田覚史先生より病棟医長の業務を引き継ぎました澤井俊樹と申します。専門は循環器内科で、大学病院に戻って来てからは、虚血性心疾患や末梢動脈疾患に対するインターベンションと、高血圧・糖尿病などのリスクファクターに関する臨床研究を中心に行ってまいりました。2-3 年前より当科におきましても多施設共同臨床研究が多く立ち上げられ、OWASE study、MIE-CARE HD、ACS レジストリーなど、関連病院の先生方からは多大なるご支援・ご協力を賜り、この場を借りて厚く御礼申し上げます。近い将来、価値ある研究結果のご報告ができるよう引き続き努力してまいりたいと思っております。



澤井俊樹

動脈疾患に対するカテーテル治療を行う虚血チーム、心筋症の診療、重症心不全に対する薬物・デバイス治療を行う心不全チーム、カテーテルアブレーションや ICD の植え込みなどを行う不整脈チーム、肺高血症・静脈血栓症の診療を行う肺循環チームの循環器内科 4 チームと、腎生検・慢性腎炎診療を中心に行う腎臓内科、さらに不明熱・膠原病・二次性高血圧などの診療を行う総合内科により構成されています。

入院される患者様の大部分が、関連病院やご開業の先生方からのご紹介であり、質の高い検査・治療は言うまでもなく、常にわかりやすい診療・患者様の十分な満足が得られるような医療の提供を心がけて日々努力しております。これまで以上に先生方との連携を強固なものにして診療を行っていきたくと考えておりますので、大学病院ならではのおもてなしの医療を十分にご活用いただければと思います。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

私が所属する 10 階北病棟の診療体制は、冠動脈・末梢

ワンポイントレクチャー 敗血症と急性血液浄化法



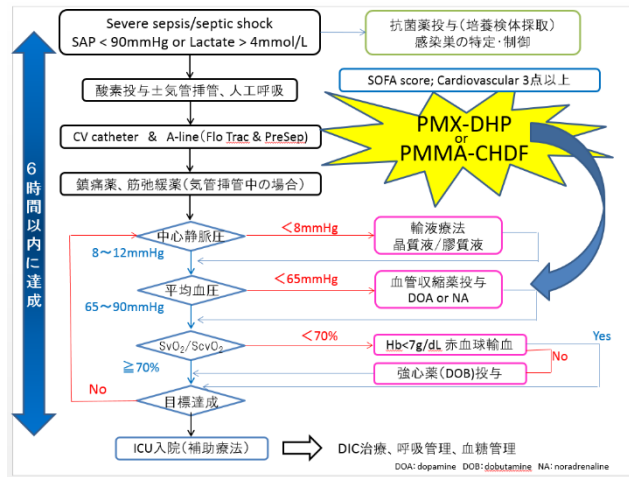
腎臓内科
伊藤貴康

当院は2013年1月1日より日本急性血液浄化学会認定施設となりました。急性血液浄化法は、当初、急性腎不全の治療目的に導入されましたが、現在では敗血症、急性肝不全、急性呼吸促迫症候群、うっ血性心不全、急性薬物中毒、血栓性血小板減少性紫斑病、溶血性尿毒症症候群、自己免疫性疾患急性増悪、中毒性表皮壊死症など適応病態が拡大されてきています。当院のデータでは、適応疾患の中で最も多いのが敗血症です。敗血症の治療法に関するガイドラインとしては2004年

に公表され2008年に改訂されたSurviving Sepsis Campaign Guidelines (SSCG)が広く知られています。SSCGのなかでも、敗血症性ショック、重症敗血症、臓器障害や乳酸アシドーシスを呈する敗血症症例に対しては、初期蘇生・Early Goal-Directed Therapy (EGDT)が提唱されています。また2012年には日本版敗血症診療ガイドラインが公表されました。この2つのガイドラインの中で、血液浄化療法はエビデンスに基づいたコンセンサスはありません。しかし、近年、敗血症性ショックの治療法の1つとして本邦で広く施行されているポリミキシンB固定化ファイバーを用いた直接血液灌流療法(PMX-DHP)の有用性が海外から示されています。またPMMA膜hemofilterを用いた持続血液濾過透析(PMMA-CHDF)がサイトカイン

などのメディエータ除去に有効であるという報告も多くなってきました。当院では積極的にEGDTにPMX-DHPもしくはPMMA-CHDFを組み込むことで敗血症患者さんの生命予後改善が期待できると考えております(図)。敗血症性ショック発症から急性血液浄化法導入までの時間が予後に関係することから重症敗血症は時間との勝負でもあります。

敗血症性ショックに対して、感染源への十分な対策とともにPMX-DHPやPMMA-CHDFなど急性血液浄化法を適切に導入することは有用な治療戦略と考えています。お困りの敗血症症例、ご紹介お待ちしております。



「EGDT + PMX-DHP or PMMA-CHDF」

Pickup



消化器・肝臓内科
野尻圭一郎

平素は大変お世話になっております。私は、消化器・肝臓内科に所属しております野尻圭一郎と申します。2008年から白木先生の元、大学で肝臓の臨床・研究を行って参りました。2012年に学位をいただき、大学院卒業の後、以前より興味があった胆膵領域を学ぶため、大学病院光学診療部にて臨床研修を行っております。胆膵領域は

まだまだ不明な事が多く、臨床・研究ともにこれから発展していく領域であると思われま。三重県内も胆膵領域を専門とされる医師はおられますがその数は少なく、専門的な診療ができない病院が多いのが現状です。三重県の胆膵領域の普及・発展に寄与できればと思い、日夜修練しております。10月からはICUでの勤務となりますが、津の救急医療の現状を肌で感じ取り、微力ではありますが一助になればと思っております。若輩者では御座いますがよろしくお願い致します。

お知らせ

- 12月7日(土) 市民公開講座 あなたのハートは大丈夫?
場所: 伊勢市観光文化会館
時間: 13:00~ 心臓マッサージ講習会 14:00~ 講演会
詳細は第一内科ホームページに掲載されています。
- 第一内科外来担当がリニューアルされました。(11月)

		月	火	水	木	金
総合	初診	山田 荻原	後藤	岡本 石川 田辺	白木 中村	中森
	再診	山田 増田 荻原	藤井 後藤	岡本 田辺	中村 熊谷 谷村	谷川 中森
循環器	初診	谷川、藤本 太田/土肥 PM外来 藤田	杉浦 (英)	谷口	澤井 松田	山田 藤井 土肥
	再診	藤本	休診	石川	村田	藤本
腎臓	初診	石川	休診	休診	休診	村田
	再診	山本			白木	
消化器・肝臓	初診	山本			白木	
	再診	白木 杉本(和)		山本	杉本(和)	

注) 不整脈に対するカテーテルアブレーション治療目的で御紹介いただく場合は、可能な限り火曜日の不整脈外来(担当: 藤井)に御紹介をよろしくお願い申し上げます。
PM外来=ペースメーカー外来(1,2,3週のみ)

- 第一内科ホームページ
<http://www.medic.mie-u.ac.jp/intmed1/>
- ドクターたちのひとりごとブログ「第一内科 Café」
<http://ameblo.jp/miedailnai/>
- 三重大学病院循環器内科, 腎臓内科
~患者様をご紹介ください~

- 1 FAX 新患予約
「診療予約申込書」(三重大学医学部附属病ホームページ<http://www.hosp.mie-u.ac.jp>の「医療機関の方へ」からダウンロード可)に必要事項を御記入の上、FAX059-231-5541に送信してください。15分以内に折り返しFAXで診療予約の回答をさせていただきます。
- 2 緊急受診、ご相談等
下記、循環器内科、腎臓内科救急ホットラインへ直接お電話下さい。病棟主任が直接対応させていただきます。

循環器内科、腎臓内科救急ホットライン

三重大学病院循環器内科, 腎臓内科連絡先(直通)
内科外来: 059-231-5146 病棟: 059-231-5101
FAX: 059-231-5518 研究棟: 059-231-5015
患者様の紹介、相談にご活用ください。

本機関誌に関するご意見、ご質問は下記メールアドレス、または当科HPまで。
naika1@clin.medic.mie-u.ac.jp

